

2023年度後期		知の市場(シラバス)						新規				
科目No.	関連講座GR591d	科目名	持続的経済成長論(4)				副題	長期停滞の原因、惹起された課題、および長期停滞の解決策を探る				
連携機関名	社会技術革新学会	水準	中級	教室定員	0	配信定員	30	講義日時	第2水曜日21:00～23:00	拠点 (開講機関)	リモート・世田谷 (知の市場)	
科目概要(300字)	日本はなぜバブル破裂とその後の金融危機以来、長期にわたる低成長が続いているのだろうか。この原因に迫るため経済低迷の始まりから今日までの日本経済をめぐる環境と経済政策及び付加価値を創り出す経済主体の対応を把握し、長期低成長を招いた原因を考察する。次に経済の長期低迷とその対応によりもたらされた日本社会や経済の持続性に係る課題の現状を概観する。さらに、どうすれば再び付加価値増大路線に回帰できるのかを、各経済主体別に短期、中期、長期の時間軸に分けて考察する。											
科目構成	No.	講義	講義概要(150字以内)					講義日	開講場所	取纏め者	講師	所属
企業成長論	7	新興企業の成長可能性	IoT等の新技術を利用して新製品や新サービスを生み出し新規上場を果たした企業のなかに、将来、巨大企業に成長しそうな企業はいるのだろうか。近年上場した企業の現在の状況を探る。					2023/10/11	Zoomを 活用して リモート 開催。	井上知行	井上知行	社会技術革新学会 会員 日本証券アナリスト協会認定アナリスト(CMA) 国際公認投資アナリスト(CIIA)
現代日本経済論	8	惹起された金融・財政政策上の課題	著しく巨額になった国債発行残高や、ついに為替レートにも影響を及ぼし始めた金融政策は持続可能なのだろうか。このまま推移するとなにが起こるのか。持続可能性に疑義があるなら何をすればよいのかを考える。					2023/11/8				
	9	惹起された産業空洞化の課題	社会経済や地勢学的な環境変化に対してとった企業や産業の適応行動は、国内製造の空洞化を招いた。工場の海外移転が日本にもたらした課題を分析する。					2023/12/13				
	10	惹起された家計への課題(3)	経済停滞や産業構造の変化は、家計に可処分所得額の長期低迷を招いた。可処分所得の長期低迷は家計にどのような課題をもたらしているのかを分析する。					2024/1/10				
付加価値論	11	豊かで持続的な経済生活のための短中期的な解決策	現在抱えている家計や政府の経済的課題を持続可能なレベルに留めることにより日本国民が幸せな経済生活を持続的に営むために、付加価値を持続的に増大させるための短中期で有効な施策を考える。					2024/2/14				
	12	豊かで持続的な経済生活のための中長期的な解決策	就業人口の減少推移する環境下においても日本国民が幸せな経済生活を持続的に営むために、付加価値を持続的に増大させることができる中長期的に有効な方策を考える。					2024/3/13				